

# 授業者による解説

昨年度、足立区が実施した令和2年度「地球にやさしいひとのまち」ポスターコンクールで、本校生徒の作品が一般部門(高校生以上)の金賞と銀賞を受賞しました。受賞作は昨年12月、足立区役所で展示されました。

今回の『あだちぴなこてーく』では、入賞した作品を含むポスター13点を紹介します。

地球にやさしい環境行動を実践し、正しく理解するための啓発の一環として毎年行われているコンクール。昨年度のテーマは「プラスチックごみを減らして、かけがえのない海と生き物を守ろう！」でした。

## 制作前

ポスター制作は、普通科1年4・5グループの美術の授業で行いました。制作に入る前に、私たちが排出しているプラスチックごみには具体的にどのようなものがあるか考える活動を行いました。生徒からは『コンビニ弁当の容器』『ペットボトル』『ビニール袋』などの意見が出されました。

次に、それらのプラスチックごみが海に流れ出た結果、環境や生物にどのような影響があるかを考えました。影響の一例として、ウミガメが海に浮かぶビニール袋をクラゲと間違えて食べて死んでしまう事故が起きていることを学びました。生徒たちは教員の話真剣な眼差しで聞いていました。

## 制作の流れ

制作は、ウミガメやアザラシなどの海の生き物をペンや色鉛筆、クレヨンなど様々な用具を使って描くことから始めました。描いたイラストはスキャナーで読み込み、データ化してタブレット端末上で構図を考えポスターに仕上げました。描いたイラストをデータ化すれば、様々な配置を手軽に試すことができます。イラストの色や形、大きさを変えることも容易ですし、現実には一つしかないイラストをコピーして増やすこともできます。これは、デジタルだからできることです。生徒主体で行われる、このような試行錯誤は、非常に重要な活動と考えています。

## 見どころ

ポスター内の標語の多くは、生徒自身が考え出したものです。鑑賞では、手描きのイラストとデジタルの背景との表現の違い、描かれたイラストの細部、使用された用具、構図の工夫、そして標語の内容など、「生徒の試行錯誤の軌跡」を味わっていただきたいと思います。